

(1) 平均法

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/個

(2) 先入先出法

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/個

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

月末仕掛品原価 円

完成品総合原価 円

完成品単位原価

修正先入先出法 円/kg

純粹先入先出法 { 月初仕掛品完成分 円/kg
当月着手完成分 円/kg

単純総合原価計算④

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価		完成品総合原価
原 料 費	55,800	A 原 料 費 ()
加 工 費	33,900	B 原 料 費 ()
計	89,700	C 原 料 費 ()
当月製造費用		加 工 費 ()
A 原 料 費	189,000	計 ()
B 原 料 費	296,100	月末仕掛品原価
C 原 料 費	340,200	A 原 料 費 ()
加 工 費	768,600	B 原 料 費 ()
計	1,593,900	C 原 料 費 ()
		加 工 費 ()
		計 ()
	1,683,600	()

完成品単位原価

円/個

問1 完成品Z材料費 円

月末仕掛品Z材料費 円

問2 完成品Z材料費 円

月末仕掛品Z材料費 円

問3 完成品Z材料費 円

月末仕掛品Z材料費 円

問4 完成品Z材料費 円

月末仕掛品Z材料費 円

問5 完成品Z材料費 円

月末仕掛品Z材料費 円

正常仕損・減損(度外視)①

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	187,920	直接材料費	()
加工費	199,200	加工費	()
計	387,120	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
直接材料費	1,940,400	直接材料費	()
加工費	2,772,000	加工費	()
計	4,712,400	計	()
	5,099,520		()

正常仕損・減損(度外視)②

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価		円/個

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	1,263,000	直接材料費	()
加工費	827,200	加工費	()
計	2,090,200	計	()
当月製造費用		仕 損 品	()
直接材料費	4,945,000	月末仕掛品原価	
加工費	5,632,000	直接材料費	()
計	10,577,000	加工費	()
		計	()
	12,667,200		()

正常仕損・減損(度外視)③

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	619,200	直接材料費	()
加工費	298,560	加工費	()
計	917,760	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
直接材料費	7,530,240	直接材料費	()
加工費	5,846,400	加工費	()
計	13,376,640	計	()
	14,294,400		()

正常仕損・減損(度外視)④

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	43,160	直接材料費	()
加工費	19,280	加工費	()
計	62,440	計	()
当月製造費用		仕 損 品	()
直接材料費	389,940	月末仕掛品原価	
加工費	427,720	直接材料費	()
計	817,660	加工費	()
		計	()
	880,100		()

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/kg

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	528,000	直接材料費	()
加工費	862,230	加工費	()
計	1,390,230	計	()
当月製造費用		仕 損 品	()
直接材料費	3,408,000	月末仕掛品原価	
加工費	6,243,750	直接材料費	()
計	9,651,750	加工費	()
		計	()
	11,041,980		()

正常仕損・減損(非度外視)①

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/kg

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	172,200	直接材料費	()
加工費	57,500	加工費	()
計	229,700	正常減損費	()
当月製造費用		計	()
直接材料費	1,234,800	月末仕掛品原価	
加工費	1,209,500	直接材料費	()
計	2,444,300	加工費	()
		計	()
	2,674,000		()

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/kg

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	14,600	直接材料費	()
加工費	27,400	加工費	()
計	42,000	正常仕損費	()
当月製造費用		計	()
直接材料費	69,400	仕 損 品	()
加工費	178,190	月末仕掛品原価	
計	247,590	直接材料費	()
		加工費	()
		計	()
	289,590		()

正常仕損・減損(非度外視)③

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価		完成品総合原価
直接材料費	166,000	直接材料費 ()
加工費	176,290	加工費 ()
計	342,290	正常仕損費 ()
当月製造費用		計 ()
直接材料費	405,000	仕損品評価額 ()
加工費	503,010	月末仕掛品原価
計	908,010	直接材料費 ()
		加工費 ()
		正常仕損費 ()
		計 ()
		()
1,250,300		()

正常仕損・減損(非度外視)④

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価		円/個

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	1,111,600	直接材料費	()
加工費	393,750	加工費	()
計	1,505,350	正常仕損費	()
当月製造費用		計	()
直接材料費	3,939,600	仕損品評価額	()
加工費	4,030,250	月末仕掛品原価	
計	7,969,850	直接材料費	()
		加工費	()
		正常仕損費	()
		計	()
			()
9,475,200			()

問 1

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/kg

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	185,000	直接材料費	()
加工費	175,300	加工費	()
計	360,300	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
直接材料費	760,000	直接材料費	()
加工費	759,200	加工費	()
計	1,519,200	計	()
	1,879,500		()

問 2

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	185,000	直接材料費	()
加工費	175,300	加工費	()
計	360,300	正常減損費	()
当月製造費用		計	()
直接材料費	760,000	月末仕掛品原価	
加工費	759,200	直接材料費	()
計	1,519,200	加工費	()
		正常減損費	()
		計	()
	1,879,500		()

月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/kg

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	1,335,600	直接材料費	()
加工費	800,400	加工費	()
計	2,136,000	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
直接材料費	8,456,400	直接材料費	()
加工費	13,052,400	加工費	()
計	21,508,800	計	()
	23,644,800		()

月末仕掛品原価		円
異常減損費		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価		円/個

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	180,000	直接材料費	()
加工費	89,400	加工費	()
計	269,400	計	()
当月製造費用		異常減損費	()
直接材料費	4,207,500	月末仕掛品原価	
加工費	3,307,800	直接材料費	()
計	7,515,300	加工費	()
		計	()
	7,784,700		()

異常仕損・減損②

月末仕掛品原価		円
異常仕損費		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価		円/個

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	100,800	直接材料費	()
加工費	48,900	加工費	()
計	149,700	計	()
当月製造費用		仕 損 品	()
直接材料費	1,071,000	異常仕損費	()
加工費	1,005,000	月末仕掛品原価	
計	2,076,000	直接材料費	()
		加工費	()
		計	()
	2,225,700		()

正常仕損と異常仕損の両方が生じる場合①

(1) 仕掛品勘定の完成

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	900,000	直接材料費	()
加工費	634,800	加工費	()
計	1,534,800	正常仕損費	()
当月製造費用		計	()
直接材料費	2,856,000	異常仕損費	()
加工費	2,620,800	仕損品評価額	()
計	5,476,800	月末仕掛品原価	
		直接材料費	()
		加工費	()
		計	()
	7,011,600		()

(2) 完成品単位原価の計算

修正先入先出法の完成品単位原価 円/個

純粋先入先出法の完成品単位原価

月初仕掛品完成分 円/個

当月投入完成分 円/個

問1 正常仕損非度外視の方法

異常仕損費	<input type="text"/>	円
月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個

問2 正常仕損度外視の方法

異常仕損費	<input type="text"/>	円
月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個


減損の安定的発生

月末仕掛品原価		円
完成品総合原価		円
完成品単位原価		
直接材料費		円/kg
加工費		円/kg
合計		円/kg

仕 掛 品		(単位：円)
当月製造費用		完成品総合原価
直接材料費	782,600	直接材料費 ()
加工費	1,783,100	加工費 ()
計	2,565,700	正常減損費 ()
		計 ()
		月末仕掛品原価
		直接材料費 ()
		加工費 ()
		正常減損費 ()
		計 ()
	2,565,700	()

	第 1 工程		第 2 工程	
月末仕掛品原価	<input type="text"/>	円	<input type="text"/>	円
完成品総合原価	<input type="text"/>	円	<input type="text"/>	円
完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個	<input type="text"/>	円/個

(注) 金額は円単位で記入すること。

材 料		加 工 費	
	仕掛品－ 第1工程 ()	諸 口 5,278,590	諸 口 ()
仕掛品－第1工程		仕掛品－第2工程	
前月繰越 ()	仕掛品－ 第2工程 ()	前月繰越 ()	製 品 ()
材 料 ()		仕掛品－ 第1工程 ()	次月繰越 ()
加 工 費 ()	次月繰越 ()	加 工 費 ()	
()	()	()	

第1工程完成品単位原価

円/個

第2工程完成品単位原価

円/個

(注) () 内には適切な数値、〔 〕内には適切な語句を記入しなさい。

仕掛品－第2工程			(単位：円)		
月初仕掛品原価			完成品総合原価		
前工程費	2,203,200		前工程費	()	
加工費	1,333,200		加工費	()	
計	3,536,400		計	()	
当月製造費用			〔 〕	()	
仕掛品－第1工程	()		月末仕掛品原価		
加工費	4,845,600		前工程費	()	
計	()		加工費	()	
			計	()	
	()			()	

第1工程完成品単位原価	<div></div>	円/個
第2工程完成品単位原価	<div></div>	円/個

仕掛品－切削工程		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
A 素 材 費	108,000	A 素 材 費	()
加 工 費	36,900	加 工 費	()
計	144,900	正 常 仕 損 費	()
当月製造費用		計	()
A 素 材 費	()	仕 損 品 評 価 額	()
加 工 費	316,800	月末仕掛品原価	
計	()	A 素 材 費	72,000
		加 工 費	()
		計	()
	()		()

仕掛品－仕上工程		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
前 工 程 費	189,000	前 工 程 費	()
B 材 料 費	21,840	B 材 料 費	()
加 工 費	61,440	加 工 費	()
計	272,280	正 常 仕 損 費	()
当月製造費用		計	()
前 工 程 費	()	仕 損 品 評 価 額	()
B 材 料 費	88,200	月末仕掛品原価	
加 工 費	687,960	前 工 程 費	()
計	()	B 材 料 費	()
		加 工 費	()
		正 常 仕 損 費	()
		計	()
	()		()

切削工程完成品単位原価

円/個

仕上工程完成品単位原価

円/個

第 1 工 程 費

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	3,356,500	直接材料費	()
加工費	1,890,150	加工費	()
計	5,246,650	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
直接材料費	9,459,450	直接材料費	()
加工費	8,883,000	加工費	()
計	18,342,450	計	()
	23,589,100		()

第 2 工 程 費

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
加工費	666,250	加工費	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
加工費	9,233,750	加工費	()
	9,900,000		()

第 1 工 程 費

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
E 素 材 費 ()		E 素 材 費 ()	
加 工 費 ()		加 工 費 ()	
計 ()		計 ()	
当月製造費用		月末仕掛品原価	
E 素 材 費 1,060,320		E 素 材 費 ()	
加 工 費 1,767,192		加 工 費 ()	
計 2,827,512		計 ()	
()		()	

第 2 工 程 費

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
加 工 費 ()		加 工 費 ()	
当月製造費用		月末仕掛品原価	
加 工 費 1,064,880		加 工 費 ()	
()		()	

	月末仕掛品原価		完成品総合原価		完成品単位原価
第1工程費					
Z原料費	<input type="text"/>	円	<input type="text"/>	円	<input type="text"/> 円/個
加工費	<input type="text"/>	円	<input type="text"/>	円	<input type="text"/> 円/個
第2工程費					
加工費	<input type="text"/>	円	<input type="text"/>	円	<input type="text"/> 円/個
合 計	<input type="text"/>	円	<input type="text"/>	円	<input type="text"/> 円/個

第 1 工 程 費

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	3,351,600	直接材料費	()
加工費	1,890,810	加工費	()
計	5,242,410	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
直接材料費	9,459,450	直接材料費	()
加工費	8,883,000	加工費	()
計	18,342,450	計	()
	23,584,860		()

第 2 工 程 費

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
加工費	666,250	加工費	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
加工費	9,233,750	加工費	()
	9,900,000		()

第 1 工 程 費

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
E 素 材 費 ()		E 素 材 費 ()	
加 工 費 ()		加 工 費 ()	
計 ()		計 ()	
当月製造費用		月末仕掛品原価	
E 素 材 費 7,410,000		E 素 材 費 ()	
加 工 費 7,020,000		加 工 費 ()	
計 14,430,000		計 ()	
()		()	

第 2 工 程 費

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
加 工 費 ()		加 工 費 ()	
当月製造費用		月末仕掛品原価	
加 工 費 5,799,800		加 工 費 ()	
()		()	

完成品単位原価

第 1 工程費

E 素材費 円/kg加 工 費 円/kg

第 2 工程費

加 工 費 円/kg合計 円/kg

仕掛品－原料費 (単位：円)

月初仕掛品原価	()	完成品総合原価	()
当月製造費用	()	月末仕掛品原価	()
	()		()

仕掛品－第1工程 (単位：円)

月初仕掛品原価		次工程振替	
当工程費	()	当工程費	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
当工程費	()	当工程費	()
	()		()

仕掛品－第2工程 (単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
前工程費	()	前工程費	()
当工程費	()	当工程費	()
計	()	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
前工程費	()	前工程費	()
当工程費	()	当工程費	()
計	()	計	()
	()		()

(1) 簡便法

月末仕掛品原料費 円

完 成 品 原 料 費 円


完成品単位原価 円/kg

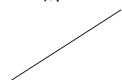
(2) 厳密法

月末仕掛品原料費 円

完 成 品 原 料 費 円

完成品単位原価 円/kg

仕 掛 品 - MT		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
X 原料費	21,250	X 原料費	()
加工費	24,700	加工費	()
計	45,950	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
X 原料費	()	X 原料費	()
加工費		加工費	()
組直接費	161,500	計	()
組間接費	()		
計	()		
	()		()

仕 掛 品 - ST		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
Y 原料費	28,950	Y 原料費	()
加工費	25,950	加工費	()
計	54,900	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
Y 原料費	()	Y 原料費	()
加工費		加工費	()
組直接費	184,700	計	()
組間接費	()		
計	()		
	()		()

製品MT完成品単位原価

円/kg

製品ST完成品単位原価

円/kg

仕 掛 品 - X		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
A 原 料 費	154,800	A 原 料 費	()
加 工 費	53,280	加 工 費	()
計	208,080	正 常 仕 損 費	()
当月製造費用		計	()
A 原 料 費	()	仕 損 品 評 価 額	()
加 工 費	()	月末仕掛品原価	
計	()	A 原 料 費	()
		加 工 費	()
		正 常 仕 損 費	()
		計	()
	()		()

仕 掛 品 - Y		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
B 原 料 費	617,600	B 原 料 費	()
加 工 費	112,560	加 工 費	()
計	730,160	正 常 仕 損 費	()
当月製造費用		計	()
B 原 料 費	()	仕 損 品 評 価 額	()
加 工 費	()	月末仕掛品原価	
計	()	B 原 料 費	()
		加 工 費	()
		計	()
	()		()

製品X完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個
製品Y完成品単位原価	<input type="text"/>	円/個
加工費配賦差異		
総 差 異	<input type="text"/>	円（借方・貸方）
予 算 差 異	<input type="text"/>	円（借方・貸方）
操業度差異	<input type="text"/>	円（借方・貸方）

（ ）内の借方・貸方のうち不要な文字を二重線（＝）で消去しなさい。

第 1 工 程 - A

(単位：円)

月初仕掛品原価		次 工 程 振 替	
原 料 費	180,000	原 料 費	()
加 工 費	77,400	加 工 費	()
計	257,400	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
原 料 費	()	原 料 費	()
加 工 費		加 工 費	()
組 直 接 費	432,700	計	()
組 間 接 費	()		
計	()		
	()		()

第 2 工 程 - A

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
前 工 程 費	176,200	前 工 程 費	()
加 工 費	114,600	加 工 費	()
計	290,800	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
前 工 程 費	()	前 工 程 費	()
加 工 費		加 工 費	()
組 直 接 費	394,000	計	()
組 間 接 費	()		
計	()		
	()		()

第 1 工 程 - B

(単位：円)

月初仕掛品原価		次 工 程 振 替	
原 料 費	117,740	原 料 費	()
加 工 費	45,120	加 工 費	()
計	162,860	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
原 料 費	()	原 料 費	()
加 工 費		加 工 費	()
組 直 接 費	890,480	計	()
組 間 接 費	()		
計	()		
	()		()

第 2 工 程 - B

(単位：円)

月初仕掛品原価		完成品総合原価	
前 工 程 費	164,000	前 工 程 費	()
加 工 費	30,720	加 工 費	()
計	194,720	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
前 工 程 費	()	前 工 程 費	()
加 工 費		加 工 費	()
組 直 接 費	45,600	計	()
組 間 接 費	()		
計	()		
	()		()

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
直接材料費	40,000	製 品 A	()
加工費	18,000	製 品 B	()
計	58,000	製 品 C	()
当月製造費用		計	()
直接材料費	424,000	月末仕掛品原価	
加工費	320,400	直接材料費	()
計	744,400	加工費	()
		計	()
	802,400		()

完成品単位原価

製 品 A	<input type="text"/>	円/個
製 品 B	<input type="text"/>	円/個
製 品 C	<input type="text"/>	円/個

問 1

製品 X

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

製品 Y

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問 2

製品 X

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

製品 Y

月末仕掛品原価

円

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問1 生産量基準

製品X

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

製品Y

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

製品Z

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問2 正常市価基準

製品X

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

製品Y

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

製品Z

完成品総合原価

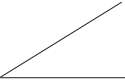
円

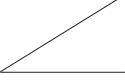
完成品単位原価

円/kg

問 1

仕掛品－第 1 工程		(単位：円)	
月初仕掛品原価		完成品総合原価	
原 料 費	462,000	中 間 製 品 G	()
加 工 費	193,800	中 間 製 品 N	()
計	655,800	計	()
当月製造費用		月末仕掛品原価	
原 料 費	3,116,000	原 料 費	()
加 工 費	3,730,000	加 工 費	()
計	6,846,000	計	()
	7,501,800		()

仕掛品－第 2 工程		(単位：円)	
当月製造費用		完成品総合原価	()
前 工 程 費	()		
加 工 費	()		
	()		()

仕掛品－第 3 工程		(単位：円)	
当月製造費用		完成品総合原価	()
前 工 程 費	()		
加 工 費	()		
	()		()

問 2

製品 G

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

製品 N

完成品総合原価

円

完成品単位原価

円/kg

問 1

製 品	X	Y	Z	合 計
製品単価あたり製造原価	円	円	円	—
売上総利益	万円	万円	万円	万円

(注) マイナスの場合は、金額の前に△を付すこと。

問 2

製 品	X	Y	Z	合 計
売上総利益	万円	万円	万円	万円

(注) マイナスの場合は、金額の前に△を付すこと。

問 3

製 品	X	Y	Z	合 計
売上総利益	万円	万円	万円	万円

(注) マイナスの場合は、金額の前に△を付すこと。

(注) 下記の各勘定の () には適切な金額 (単位: 円) を記入すること。なお、総差異については、借方または貸方のいずれかに記入し、不要な () は空欄のままでよい。

問1 シングル・プラン

材				料			
前	月	繰	越	1,573,600	仕	掛	品 ()
買	掛	金	7,752,000	次	月	繰	越 ()
総	差	異	()	総	差	異	()
			()				()

賃				金			
諸		口	6,844,800	仕	掛	品	()
総	差	異	()	総	差	異	()
			()				()

製				造 間 接 費			
諸		口	4,412,000	仕	掛	品	()
総	差	異	()	総	差	異	()
			()				()


仕				掛 品			
前	月	繰	越 ()	製		品	()
材		料	()	次	月	繰	越 ()
賃		金	()	総	差	異	()
製	造	間	接 費 ()				
総	差	異	()				
			()				()

問2 パーシャル・プラン

材				料			
前	月	繰	越	1,573,600	仕	掛	品 ()
買	掛	金		7,752,000	次	月	繰 越 ()
総	差	異	()	総	差	異	()
			()				()

賃				金			
諸		口	6,844,800	仕	掛	品	()
総	差	異	()	総	差	異	()
			()				()

製 造 間 接 費							
諸		口	4,412,000	仕	掛	品	()
総	差	異	()	総	差	異	()
			()				()

仕 掛 品				
前 月 繰 越	()	製 品	()	
材 料	()	次 月 繰 越	()	
賃 金	()	総 差 異	()	
製 造 間 接 費	()			
総 差 異	()			
	()			

問3 修正パーシャル・プラン

材				料			
前	月	繰	越	1,573,600	仕	掛	品 ()
買	掛	金		7,752,000	次	月	繰 越 ()
総	差	異	()	総	差	異	()
			()				()

賃 金					
諸	口	6,844,800	仕	掛	品 ()
総	差	()	総	差	異 ()
		()			()

製 造 間 接 費					
諸	口	4,412,000	仕	掛	品 ()
総	差	()	総	差	異 ()
		()			()

仕 掛 品					
前	月	繰	製	品	()
材		越	次	月	繰
賃		料	総	差	異
製		金			()
造		()			
間		()			
接		()			
費		()			
総		()			
差		()			
異		()			
		()			()

価格差異

円〔 〕

数量差異

円〔 〕

計：直接材料費差異

円〔 〕

賃率差異

円〔 〕

時間差異

円〔 〕

計：直接労務費差異

円〔 〕

製造間接費配賦差異

円〔 〕

〈差異分析〉

(1) 四分法

予 算 差 異

円〔 〕

変動費能率差異

円〔 〕

固定費能率差異

円〔 〕

操 業 度 差 異

円〔 〕

(2) 能率差異は変動費と固定費の両方から算出する三分法

予 算 差 異

円〔 〕

能 率 差 異

円〔 〕

操 業 度 差 異

円〔 〕

(3) 能率差異は変動費のみから算出する三分法

予 算 差 異

円〔 〕

能 率 差 異

円〔 〕

操 業 度 差 異

円〔 〕

(注) 下記勘定の〔 〕内には原価差異の名称を、()には金額(単位: 円)を記入しなさい。なお、不要なカッコには「—」を記入すること。

仕掛品－直接材料費

前 月 繰 越 ()	製 品 ()
材 料 ()	次 月 繰 越 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
<u> </u>	<u> </u>
<u> </u>	<u> </u>

仕掛品－直接労務費

前 月 繰 越 ()	製 品 ()
賃 金 ()	次 月 繰 越 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
<u> </u>	<u> </u>
<u> </u>	<u> </u>

仕掛品－製造間接費

前 月 繰 越 ()	製 品 ()
製 造 間 接 費 ()	次 月 繰 越 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
<u> </u>	<u> </u>
<u> </u>	<u> </u>

(注) 下記勘定の〔 〕内には適切な名称を、()には金額(単位:円)を記入しなさい。なお、不要なカッコは空欄のままでよい。

材		料	
前 月 繰 越 ()		仕 掛 品 ()	
諸 口 ()		次 月 繰 越 ()	
〔 〕 ()		〔 〕 ()	
	<u>()</u>		<u>()</u>

材料受入価格差異

〔 〕 ()	〔 〕 ()
---------	---------

賃		金	
諸 口 4,867,200		仕 掛 品 ()	
〔 〕 ()		〔 〕 ()	
	<u>()</u>		<u>()</u>

仕		掛		品	
前 月 繰 越 ()		製 品 ()			
材 料 ()		次 月 繰 越 ()			
賃 金 ()		〔 〕 ()			
製 造 間 接 費 ()		〔 〕 ()			
〔 〕 ()		〔 〕 ()			
〔 〕 ()		〔 〕 ()			
	<u>()</u>			<u>()</u>	

(注) 下記勘定の〔 〕内には相手勘定科目名を、()には金額(単位：円)を記入しなさい。また、原価差異の勘定は借方または貸方のいずれか一方にのみ記入すること。なお、不要なカッコは空欄のままでよい。

仕掛品－第1工程

月初仕掛品原価	()	〔 〕	()
材 料	()	月末仕掛品原価	()
加 工 費	()	総 差 異	()
	()		()

仕掛品－第2工程

月初仕掛品原価	()	〔 〕	()
〔 〕	()	月末仕掛品原価	()
加 工 費	()		
総 差 異	()		
	()		()

〔仕掛品－第1工程勘定の総差異〕

価 格 差 異	数 量 差 異
() ()	() ()
予 算 差 異	能 率 差 異
() ()	() ()
操 業 度 差 異	
() ()	

〔仕掛品－第2工程勘定の総差異〕

予 算 差 異	能 率 差 異
() ()	() ()
操 業 度 差 異	
() ()	

仕 掛 品		(単位：円)	
前 月 繰 越	()	製 品	()
材 料	()	次 月 繰 越	()
賃 金	()		
製 造 間 接 費	()		
	()		()
価 格 差 異		数 量 差 異	
()	()	()	()
賃 率 差 異		時 間 差 異	
()	()	()	()
予 算 差 異		能 率 差 異	
()	()	()	()
操 業 度 差 異			
()	()		

〔第1法の標準原価カード〕

直接材料費	<input type="text"/>	円×	<input type="text"/>	kg =	<input type="text"/>	円
変動加工費	<input type="text"/>	円×	<input type="text"/>	時間 =	<input type="text"/>	円
固定加工費	<input type="text"/>	円×	<input type="text"/>	時間 =	<input type="text"/>	円
合 計	<input type="text"/>					円

〔第2法の標準原価カード〕

直接材料費	<input type="text"/>	円×	<input type="text"/>	kg =	<input type="text"/>	円
変動加工費	<input type="text"/>	円×	<input type="text"/>	時間 =	<input type="text"/>	円
固定加工費	<input type="text"/>	円×	<input type="text"/>	時間 =	<input type="text"/>	円
小 計	<input type="text"/>					円
正常減損費	<input type="text"/>	円×	<input type="text"/>	% =	<input type="text"/>	円
合 計	<input type="text"/>					円

完 成 品 標 準 原 価 円

内訳：直接材料費 円

加 工 費 円

月末仕掛品標準原価 円

内訳：直接材料費 円

加 工 費 円

完 成 品 標 準 原 価	<input type="text"/>	円
内 訳：直接材料費	<input type="text"/>	円
加 工 費	<input type="text"/>	円
正常減損費	<input type="text"/>	円
月末仕掛品標準原価	<input type="text"/>	円
内 訳：直接材料費	<input type="text"/>	円
加 工 費	<input type="text"/>	円
正常減損費	<input type="text"/>	円

(1) 仕掛品勘定の作成（第1法）

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価 ()	完成品製造原価 ()	
当月実際製造費用	月末仕掛品原価 ()	
原 料 費 ()	標準原価総差異 ()	
加 工 費 ()		
実際製造費用計 ()		
合 計 ()	合 計 ()	

(2) 標準原価総差異の分析

総 差 異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
① 原料価格差異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
② 原料数量差異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
③ 加工費予算差異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
④ 加工費能率差異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
⑤ 操 業 度 差 異	=	<input type="text"/>	円〔 〕

(注)〔 〕内に、借方差異は「借方」、貸方差異は「貸方」と記入しなさい。

(1) 仕掛品勘定の作成（第2法）

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品原価 ()	完成品製造原価 ()	
当月実際製造費用	異 常 減 損 費 ()	
原 料 費 ()	月末仕掛品原価 ()	
加 工 費 ()	標準原価総差異 ()	
実際製造費用計 ()		
合 計 ()	合 計 ()	

(2) 標準原価総差異の分析

総 差 異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
① 原料価格差異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
② 原料数量差異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
③ 加工費予算差異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
④ 加工費能率差異	=	<input type="text"/>	円〔 〕
⑤ 操 業 度 差 異	=	<input type="text"/>	円〔 〕

(注)〔 〕内に、借方差異は「借方」、貸方差異は「貸方」と記入しなさい。

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価	<input type="text"/>	完成品製造原価	<input type="text"/>
当月実際製造費用		仕損品売却処分価額	<input type="text"/>
原 料 費	7,213,920	異 常 仕 損 費	<input type="text"/>
変 動 加 工 費	2,086,500	月末仕掛品原価	<input type="text"/>
固 定 加 工 費	2,900,000	標準原価総差異	<input type="text"/>
実際製造費用計	12,200,420		
	<input type="text"/>		<input type="text"/>

原 料 価 格 差 異	原 料 数 量 差 異
() ()	() ()

変動加工費予算差異	固定加工費予算差異
() ()	() ()

変動加工費能率差異	固定加工費能率差異
() ()	() ()

操 業 度 差 異
() ()

問1 第1法による仕掛品勘定

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価	<input type="text"/>	完成品製造原価	<input type="text"/>
当月実際製造費用		月末仕掛品原価	<input type="text"/>
原 料 費	20,209,800	標準原価総差異	<input type="text"/>
変 動 加 工 費	7,250,000		
固 定 加 工 費	4,792,000		
	<input type="text"/>		<input type="text"/>

問2 第2法による仕掛品勘定

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価	<input type="text"/>	完成品製造原価	<input type="text"/>
当月実際製造費用		異 常 仕 損 費	<input type="text"/>
原 料 費	20,209,800	月末仕掛品原価	<input type="text"/>
変 動 加 工 費	7,250,000		
固 定 加 工 費	4,792,000		
標準原価総差異	<input type="text"/>		<input type="text"/>
	<input type="text"/>		<input type="text"/>

問3 第2法による標準原価差異の分析

(注) () 内に、借方差異は「-」、貸方差異は「+」を記入しなさい。

- | | | | |
|-------------|-------|----------------------|---|
| ① 原料価格差異 | = () | <input type="text"/> | 円 |
| ② 原料消費量差異 | = () | <input type="text"/> | 円 |
| ③ 変動加工費予算差異 | = () | <input type="text"/> | 円 |
| ④ 固定加工費予算差異 | = () | <input type="text"/> | 円 |
| ⑤ 加工費能率差異 | = () | <input type="text"/> | 円 |
| ⑥ 操業度差異 | = () | <input type="text"/> | 円 |

仕 掛 品		(単位：千円)
月初仕掛品原価 ()	完 成 品 原 価 ()	
当 月 製 造 費 用	異 常 仕 損 費 ()	
直接材料費(X) ()	月末仕掛品原価 ()	
直接材料費(Y) ()	総 差 異 ()	
直接労務費 ()		
製造間接費 ()		
小 計 ()		
()		()

差異分析表 (A)

(単位：千円)

直接材料費 (X) 総差異 = ()	価格差異 = ()	消費量差異 = ()
直接材料費 (Y) 総差異 = ()	価格差異 = ()	消費量差異 = ()
直接労務費 総差異 = ()	賃率差異 = ()	時 間 差 異 = ()
製造間接費 総差異 = ()	予算差異 = ()	変動費能率差異 = ()
	固定費能率差異 = ()	操業度差異 = ()

(注) () には、不利差異であれば「U」、有利差異であれば「F」と記入しなさい。

(単位：円)

仕掛品－原料費		原料消費量差異	
()	()	()	()
	差異()		
()	()		
原料配合差異		原料歩留差異	
()	()	()	()

(単位：円)

原 料		仕掛品－原料費	
月初()	()	()	完成()
()	月末()	/	差異()
()	()		()
原料受入価格差異		原料消費量差異	
()	()	()	()

原料受入価格差異一覧表

原 料	金 額
X	円 ()
Y	円 ()
Z	円 ()
合 計	円 ()

(注) () 内には、「借」または「貸」と記入する。ただし、金額が0の場合には () 内に「—」と記入のこと。

原料消費量差異分析表 (甲表)

原 料	原料配合差異	原料歩留差異
X	85,250 円 (貸)	円 ()
Y	87,500 円 (借)	円 ()
Z	円 ()	円 ()
合 計	円 ()	円 ()

(注) () 内には、「借」または「貸」と記入する。ただし、金額が0の場合には () 内に「—」と記入のこと。

原料消費量差異分析表（乙表）

原 料	原料配合差異	原料歩留差異
X	8,750 円（ 貸 ）	円（ ）
Y	6,000 円（ 借 ）	円（ ）
Z	円（ ）	円（ ）
合 計	円（ ）	円（ ）

（注）（ ）内には、「借」または「貸」と記入する。ただし、金額が0の場合には（ ）内に「——」と記入のこと。

配合差異・歩留差異分析③

(単位：円)

賃	金
	()

仕掛品－直接労務費	
()	完成()
△ ()	差異()
<u>()</u>	<u>()</u>

労働賃率差異	
()	()

労働能率差異	
()	()

労働歩留差異	
()	()

製 造 間 接 費
()

仕掛品－製造間接費	
()	完成()
△ ()	差異()
<u>()</u>	<u>()</u>

消費差異	
()	()

不働能力差異	
()	()

製造間接費能率差異	
()	()

製造間接費歩留差異	
()	()

問 1

損 益 計 算 書		(単位：円)
I 売 上 高	()	
II 売 上 原 価		
1. 当期製品製造原価	()	
2. 期末製品棚卸高	()	
標準売上原価	()	
3. 原 価 差 額	()	()
売上総利益		()

貸 借 対 照 表 (一部)		(単位：円)
資 産 の 部		
流 動 資 産		
製 品	()	
材 料	()	
仕 掛 品	()	

問2

<u>損 益 計 算 書</u>		(単位：円)
I 売 上 高		()
II 売 上 原 価		
1. 当期製品製造原価	()	
2. 期末製品棚卸高	()	
標準売上原価	()	
3. 原 価 差 額	()	()
売上総利益		()

<u>貸 借 対 照 表 (一部)</u>		(単位：円)
資 産 の 部		
流 動 資 産		
製 品 ()		
材 料 ()		
仕 掛 品 ()		

(注) 勘定記入は、相手勘定科目と金額（単位：円）を記入すること。期末有高については次期繰越とし、金額はまず標準原価を記入し、その下の行に追加配賦額を、さらにその下の行に両者の合計額（実際原価）を記入しなさい。

材 料

仕 掛 品

製 品

売 上 原 価

購入材料価格差異

材 料 数 量 差 異

問1 下記の□内に計算した差異の金額を、〔 〕内には借方または貸方を記入しなさい。

(1) 原料受入価格差異 円〔 〕

(2) 原料消費量差異 円〔 〕

(3) 加工費配賦差異 円〔 〕

問2 勘定記入は、相手勘定科目と金額（単位：円）を記入すること。原料費は、原料の種類別に計算した金額の合計額で記入してよい。期末有高については次期繰越とし、金額はまず標準原価を記入し、その下の行に追加配賦額を、さらにその下の行に両者の合計額（実際原価）を記入しなさい。

仕 掛 品

製 品

売 上 原 価

問3 当年度の実際営業利益

円

問1 下記の□内に計算した差異の金額を、〔 〕内には「借方」または「貸方」を記入しなさい。

(1) 原料受入価格差異

円〔 〕

(2) 原料消費量差異

円〔 〕

(3) 加工費配賦差異

円〔 〕

問2 当年度の実際営業利益

円

問3 各勘定の〔 〕内には相手勘定科目名を、()内には金額を円単位で記入すること。原料費は、原料の種類別ではなく、原料の種類別に計算した金額の合計額で記入すること。期末有高については次期繰越とし、金額はまず標準原価を記入し、その下の行に追加配賦額を、さらにその下の行に両者の合計額（実際原価）を記入しなさい。

仕掛品－第1工程

原 料	()	仕掛品－第2工程	()
加 工 費	()	〔 〕	()
原料受入価格差異	()	〔 〕	()
原料消費量差異	()	次 期 繰 越	
〔 〕	()	標 準 原 価	()
		追 加 配 賦 額	()
		合 計	()
	()		()

仕掛品－第2工程

〔 〕 ()	〔 〕 ()
原 料 ()	〔 〕 ()
加 工 費 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	次 期 繰 越
〔 〕 ()	標 準 原 価 ()
加工費配賦差異 ()	追 加 配 賦 額 ()
△	合 計 ()
()	()

製 品

〔 〕 ()	売 上 原 価 ()
〔 〕 ()	次 期 繰 越
〔 〕 ()	標 準 原 価 ()
加工費配賦差異 ()	追 加 配 賦 額 ()
△	合 計 ()
()	()

売 上 原 価

製 品 ()	損 益 ()
〔 〕 ()	△
〔 〕 ()	
加工費配賦差異 ()	
()	()